



























膀胱全摘・回腸導管造設術を受けられる患者さまへ

月日(日時)	／		／		／		／	
経過(病日等)	手術3日前		手術2日前		手術前日		手術当日(手術前)	
達成目標	◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆手術について理解し、準備が整っている ◆ストマについて理解することができ、手術後の身体的変化を受け入れることができる ◆退院基準を患者、家族が理解し同意する				◆安心して手術に臨むことができる			
治療・薬剤	抗菌薬の内服があります 		抗菌薬の内服があります 首か足のつけねから管を入れ点滴を始めます		抗菌薬の内服があります 下剤の内服があります 眠れない場合は睡眠薬を内服します		点滴をします	
処置			手術部位の除毛をします 臍の汚れを取ります 		ストマを作る場所を決め、印をつけます 夕食後(19時頃)に浣腸をおこないます		手術室にいく前に弾性ストッキングを履きます	
検査			点滴の管を入れた後、エックス線検査にいきます 		朝から採血があります			
活動・安静度	制限はありません				病棟内です			
食事	制限はありません 		治療食になります(低残渣食です) 		昼まで治療食でその後は絶食となります		絶食となります 水分は()時までです 	
清潔	入浴出来ます		除毛後に入浴してください					
排泄	便秘を整えます				浣腸後、排便の観察を行います			
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	看護師が入院生活の説明をいたします ストマ装具についての学習があります 身体障害者手帳の手続きについて、看護師が説明をいたします		受持医が手術の説明をいたします 薬剤師が薬について説明をいたします 実際にストマ装具を装着する体験をします 		ストマ装具をはずす体験をします 麻酔医の診察と手術室の看護師の訪問が病室であります。			
手術に必要なバスタオル2枚、T字帯2枚、腹帯2枚、フラットオムツ2枚、ストマ装具を準備して下さい T字帯、腹帯、オムツ、ストマ装具は売店にあります 入院費は3割負担で概ね70万になります。入院費に対するご心配がありましたらお早めに医療福祉相談室にご相談ください								

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2 入院期間については現時点で予想される期間です

膀胱全摘・回腸導管造設術を受けられる患者さまへ

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/	
経過(病日等)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術5日目	手術6日目	手術7日目	
達成目標	◆手術後の状態が安定し、ストマから順調に尿がでる ◆傷からの出血がない ◆傷の痛みがない			◆発熱や腹部膨満感症状がなく過ごすことができる ◆傷の痛みが緩和でき歩行可能となる		◆ストマ装具に慣れることができる ◆腹痛なく食事が摂取できるようになる ◆創の状態が良く、感染を起こさない			
治療・薬剤	手術前の分と腕の2ヶ所から点滴をしています 		手術後、痛みが強いときには痛み止めを使用します 背中に痛み止めが入っています		背中への痛み止めを抜きます 漢方薬の内服が始まります		点滴の入っている所の消毒を行います		
処置	酸素吸入をします。状態よければ翌朝看護師がはずします 鼻から胃に管が入っていることがあります(状況によって主治医が抜きます) お腹に1本の管が入っています			ガーゼ交換があります パウチ交換を看護師が行います お腹の管を主治医の診察時可能であれば抜きます		糸をすべて抜きます 糸を半分抜きます 手術6日目パウチ交換があります			
検査	朝から血液検査をします 病室でエックス線検査があります 		朝から血液検査を行います 		エックス線検査があります 		朝から血液の検査があります 		
活動・安静度	ベッド上安静です(頭は起こせません) 		看護師の介助でベッド周りの歩行可能になります 		トイレまで歩くことが可能です 病棟内歩行が可能です		制限はありません		
食事	絶飲絶食です 		主治医に確認後飲水が開始となります 		エックス線検査の結果で昼から流動食が開始になります 3分粥になります		5分粥になります		
清潔	朝からベッド上で歯磨きをします ベッドで看護師が体を拭きます		看護師が身体を拭きます						
排泄	尿の管が2本腹部ストマに入っています				昼間はストマ装具のみで、ウロガードとの接続をはずしましょう(看護師が説明します) トイレに行くことができます 排便なければ昼間坐薬をいれます				
患者様及びご家族への説明リハビリ栄養指導服薬指導	手術後、ご家族に手術の結果を説明いたします 麻酔の影響で痰が多くあるので、自分で出すようにしてください 看護師が説明いたします 		看護師にてパウチ交換をいたします 手順について少しずつ、慣れていくようにしましょう 		実際にストマを見て触れてみましょう 看護師が装具からの尿の出し方を説明いたします ストマの色も覚えましょう 		薬剤師が病室で服薬について説明いたします 食事は少量ずつ摂取し、嘔気や腹痛があればすぐお知らせください 装具交換時看護師が手順を説明しながら行います 少しずつ一緒におこないましょう		抜糸後異常があればお知らせください 

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2 入院期間については現時点で予想される期間です

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術後8日目	手術後9~11日目	手術後12日目	手術後13日目	手術後14日目	手術後15日目	手術後16日目(退院)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆腹部症状なく食事が摂取できる ◆感染・閉塞なくカテーテルから尿の排泄がある ◆ストマに慣れ、ストマ装具の交換ができる ◆ストマ周囲の皮膚トラブルがない 						<p>【退院基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆37.5度以上の発熱がない ◆ストマ装具の交換が自分でできる ◆社会制度を知り、自分で活用できる
治療・薬剤							
処置		2日おきにパウチ交換をします	左スプリントカテーテル抜去します		右スプリントカテーテル抜去します	15日目パウチ交換を行います	
検査				エコー検査(腎臓)があります 朝から血液検査を行います		エコー検査(腎臓)があります	
活動・安静度	制限はありません						
食事		手術後9日目:全粥 以後常食になります	普通食になります				
清潔	創状態によりシャワー可能になります	シャワー可能になります				入浴可能となります	
排泄	ストマから集尿器に尿がでます(夜間はウロガードにつないでおいてください)						
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	<p>装具交換の必要物品について</p> <p>交換時必要なロールガーゼの作り方</p> <p>ストマ装具のはがし方</p> <p>装着方法</p> <p>ストマ周囲の拭き方</p> <p>看護師より説明があり実際にいたします</p>	<p>実際に装具交換を行ってまいります</p> <p>皮膚・ストマの観察</p> <p>集尿器の貼り方</p> <p>次回の装具交換の目安について説明いたします</p>				<p>装具交換を一人で行ってみましょう。</p> <p>不足部分や不安な所は看護師が説明を行います。</p> <p>☆当院ではウロストマを造られた人たちのひまわり会があります</p> <p>入院中にご案内いたします。</p>	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2 入院期間については現時点で予想される期間です